



山陰の発展をリード

平成十六年十一月一日、山陰で初の人口二十万の中核都市、新「鳥取市」が誕生しました。

この新「鳥取市」は、地方税収入や地方交付税の減少による厳しい財政状況や少子高齢化の進行により、今後予想される福祉・医療など多様化・高度化する行政サービスの増加、また自立した自治体が求められる地方分権への対応など、さまざまな行政課題に取り組み対処していきます。

また、新市まちづくり計画である「広域交流観光の展開」「情報先進都市の実現」「環境ビジネスの創出」「人材誘致・定住対策の促進」「子育て・教育先進都市の実現」「人権尊重都市の実現」「地域文化の振興」「新たな農林水産業の振興」「防災・防犯対策の強化」の九つの政策を『夢のある二十万都市づくりビジョン』として掲げ、産業、文化、教育、福祉、環境など市民生活の各分野で、山陰の発展をリードする日本海地域有数の中核都市にふさわしいまちを築いていきます。